

オオムラサキの裏翅の色って、



何種類もあるの？

オオムラサキは、タテハチョウの仲間では最大級の蝶で、海上の森でも7月頃見ることができます。この蝶は今、全国的に減少しているといいますがなぜでしょうか。また、この蝶の裏翅には数パターンの変異があり、地域によってパターンや頻度が異なるといえます。いったいどんな変異があるのでしょうか。日本の国蝶オオムラサキの、保護・保全のありかたや裏翅の変異について、その生活史についての解説を交えながらお話していただきます。



越冬幼虫



成虫



蛹



終齢幼虫



前蛹



- ・開催日 平成28年8月27日(土) 14:00～15:30
- ・開催場所 あいち海上の森センター 3階研修室 (瀬戸市吉野町304-1)
- ・話題提供者 高橋 匡司 かすがい東部丘陵自然観察会 会長
モニタリング1000 海上の森コアサイト 幹事
日本鱗翅学会 自然保護委員会東海支部長
- ・問合せ先 あいち海上の森センター ※事前申込み不要。当日、時間までにお越しください。
☎ 0561-86-0606 E-Mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

次回予告 (第4回)

9月24日(土) 13:30～15:00

「コケに魅せられコケ散歩」

話題提供者 コケ愛好家 のだ ふみ

NPO法人海上の森の会 会員
日本蘚苔類学会 会員